

78	建設局	地域特性に応じた道路の暑さ対策としての舗装
事業概要	<p>道路の暑さ対策の一つとして、東京都では、舗装内に蓄えた水分が蒸発することで、路面温度の上昇を抑制する効果のある保水性舗装を実施している。</p> <p>さらに、低騒音機能を損なわずに路面温度の上昇を抑制する効果のある舗装として、太陽光を反射する遮熱材を舗装表面に塗布する遮熱性舗装を、平成19年度に試験施工し、平成20年度から本格実施している。</p>	
これまでの経過	<p>【 遮熱性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏場に一般の舗装と比較して8℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた（平成19年度共同実験〔新大橋通りでの試験舗装〕による調査結果）。 平成28年度は、内堀通り（千代田区大手町一丁目）など31箇所、延長約10kmを実施した。 遮熱性舗装の平成28年度までの施工実績は、延長約86kmである。 <p>【 保水性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 真夏の降雨後に一般の舗装と比較して10℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた（平成14年度調査結果）。 平成28年度は、新宿副都心九号線（新宿区西新宿二丁目～一丁目）で、延長約0.2kmを実施した。 保水性舗装の平成28年度までの施工実績は、延長約20kmである。 	
現在の進行状況	<p>【 遮熱性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は内堀通り（千代田区皇居外苑）など40箇所、延長約13kmを実施する。9月30日現在、4箇所（約1km）完了し、14箇所工事着手している。 <p>【 保水性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度は、新宿副都心十三号線（新宿区西新宿二丁目）で、延長約0.3kmを実施する。9月30日現在、契約準備中である。 	
今後の見通し	<p>今後も、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、遮熱性舗装、などを積極的に実施していく。</p> <p>特に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で想定されているマラソンコース等においては、「アスリート・観客にやさしい道の検討会」の提言も踏まえ、着実に整備する。</p>	
問い合わせ先	建設局 道路管理部 保全課	電話 03-5320-5296